

# 教職課程について

## 1. 本大学院で取得することのできる免許状

| 専攻      | 種類                        | 教科       |
|---------|---------------------------|----------|
| 英語学専攻   | 中学校教諭専修免許状<br>高等学校教諭専修免許状 | 英語<br>英語 |
| 国語国文学専攻 | 中学校教諭専修免許状<br>高等学校教諭専修免許状 | 国語<br>国語 |

※心理学専攻は取得できない。

## 2. 教員養成の理念、養成の目標および養成する教員像

### 大学院文学研究科

#### 教員養成の理念

1. 他者への思いやりの心を持って教育に携わるのにふさわしい人材の育成を目指す。
2. 専門分野における最先端の動向に常に関心を持ち、その知識を授業設計や教育改善に役立たせることができる人材の育成を目指す。
3. 大学院での研究成果を基盤に持つ専門家としての自覚を持ち、教育現場において指導的役割を果たすことができる人材の育成を目指す。

#### 養成する教員像

1. 他者への思いやりの心を持ち、一人ひとりの個性を尊重しながら生徒と接することができる教員。
2. 専門的知識や教育方法を基に生徒の関心と学修意欲を引き出せる教員。
3. 専門家としての自覚を持ち、主体的に自らの学識を高めるだけでなく、授業においては教育改善に取り組み、教育現場においては指導的な役割を果たすことができる教員。

#### 養成の目標

1. 教員として望ましい人格の育成  
教育に対する情熱と生徒への深い理解と愛情を持ち、コミュニケーション能力に優れた人材を育てる。
2. 教科の専門性と実践的指導力の育成  
教科に関する専門的な知識、技術を教育現場において実践することができる人材を育てる。
3. 生涯を通じて向上していく自己教育力の育成  
現状に満足することなく、自己教育力の向上を目指して、学び続けることができる人材を育てる。

### 「英語」専修免許課程（英語学専攻）

#### 養成する教員像

1. 言語としての英語に関する専門的な知識を、絶えず変化する外国語教育現場のニーズに合わせて最善の授業を設計・実践できる教員。
2. コミュニケーションとしての英語に関する高い運用能力を身につけ、グローバル化した世界において、異文化・多文化を超え人々とことばを通じて意思を伝え合うことができる教員。
3. 修了後も研究への関心を持ち続け、獲得した最先端の知見を実践を通じて教育現場に還元できる教員。

#### 養成の目標

1. 英語学、英語教育に関する専門的知識のみならず、コンピュータに関する高度な実践的能力を修得することによって、これからの英語教育に必要とされる能力を兼ね備えた人材を育成する。
2. 国際的な場面で英語を自在に使える英語力を身につけているだけでなく、教室において英語による授業を展開することで、生徒の意欲・関心を引き出せる人材を育成する。
3. 国際化社会に生きる次世代の生徒を教育するのに十分な資質を持つことに加え、理論と実践の両面において同僚のリーダー的存在となれる人材を育成する。

## 「国語」専修免許課程（国語国文学専攻）

### 養成する教員像

1. 日本語学（国語学）と日本文学（国文学）に関する幅広い視野と深い学識をもって、それぞれの研究分野で深めた専門性を「国語科教育」に活かすことのできる教員。
2. グローバルな視点を持って、日本語と日本文化・日本文学の特徴を捉え、その価値と意義を発信し、これらについての深い理解を生徒に定着させることのできる教員。
3. 伝統的な日本文化から現代の言語に至る様々な文化的・言語的事象に常に関心を持ち、不断に学び、探究しようとする姿勢を持ち続ける教員。

### 養成の目標

1. 日本語学（国語学）と日本文学（国文学）の分野についての高度な専門知識と幅広い識見を有する人材を育てる。
2. 古代から現代に至る日本語および日本文化・日本文学について、その伝統や特徴を深く捉え、さらには、現代の社会的言語実態についての専門的な洞察力も持って、国語科教育に当たる人材を育てる。
3. 教育現場において指導的な立場で、言語活動の教育を意欲的に推進し、生徒の言語能力の育成に力を発揮する有用な人材を育てる。

### 3. 免許状取得要件：以下のすべてを充足すること。

- (1) 当該免許状の校種・教科の一種免許状を有していること。
- (2) 大学院を修了（修士の学位を取得）すること。
- (3) 大学院において、所定の教科に関する科目（24単位）を修得すること。

### 4. 教科に関する科目

<英語>

|   |  |   |
|---|--|---|
| 必修                                      | 英語学研究116（英語授業論A）<br>英語学研究117（英語授業論B）<br>英語学研究122（英語授業論C）<br>英語学研究123（英語授業論D）   | 英語学研究217（語学教育理論A）<br>英語学研究218（語学教育理論B）  |
| 選択                                      | 英語学研究102（音声学・音韻論）<br>英語学研究103（韻律音韻論）<br>英語学研究105（文法研究の歴史）<br>英語学研究106（言語と知識）<br>英語学研究107（文法と意味）<br>英語学研究108（日英対照文法論）<br>英語学研究109（言語と数学）<br>英語学研究110（意味論）<br>英語学研究111（言語科学方法論）<br>英語学研究112（言語と社会）<br>英語学研究113（談話分析）<br>英語学研究114（言語と認識）<br>英語学研究115（実験言語学）<br>英語学研究118（英文法A）<br>英語学研究119（英文法B） | 英語学研究201（音韻論A）<br>英語学研究202（音韻論B）<br>英語学研究203（語と文法A）<br>英語学研究204（語と文法B）<br>英語学研究205（文法と意味A）<br>英語学研究206（文法と意味B）<br>英語学研究207（言語と情報A）<br>英語学研究208（言語と情報B）<br>英語学研究209（社会言語学）<br>英語学研究210（変異理論）<br>英語学研究211（言語と認識A）<br>英語学研究212（言語と認識B）<br>英語学研究215（意味論・語用論A）<br>英語学研究216（意味論・語用論B） |
| 必修6科目12単位、選択6科目12単位以上修得し、合計24単位以上修得のこと。 |  |   |

<国語>

|  |  |  |  |
|--|--|--|--|
| 日<br>本<br>文<br>学   | 日本文学特殊講義 I A<br>日本文学特殊講義 I B<br>日本文学特殊講義 II A<br>日本文学特殊講義 II B<br>日本文学演習 I A<br>日本文学演習 I B<br>日本文学演習 II A<br>日本文学演習 II B<br>日本文学史特殊講義 A<br>日本文学史特殊講義 B | 日<br>本<br>語<br>学<br>・<br>日<br>本<br>語<br>教<br>育 | 日本語学特殊講義 I A<br>日本語学特殊講義 I B<br>日本語学特殊講義 II A<br>日本語学特殊講義 II B<br>日本学特殊講義 A<br>日本学特殊講義 B<br>日本語学演習 I A<br>日本語学演習 I B<br>日本語学演習 II A<br>日本語学演習 II B<br>日本語教育特殊講義 A<br>日本語教育特殊講義 B<br>日本語教育演習 A<br>日本語教育演習 B |
| 日本文学、日本語学・日本語教育の 2 系統から 1 系統を選び、その系統の開講科目から 20 単位以上を修得し、さらに他の系統から 4 単位以上修得し、合計 24 単位以上修得のこと。 |  |  |  |

5. 一種免許状を有しない者は、大学の科目等履修生として所定の科目を修得することにより、取得することができる場合がある。教務課で相談のうえ、所定の手続をとること。(場合により、科目等履修が認められないこともある。)